

防犯カメラ及び公衆無線LAN(Wi-Fi)を整備しました

町が一般社団法人一般社団法人安全・安心まちづくりICT推進機構と共同で整備を進めていた「公共施設における自動販売機併設の防犯カメラ及び公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスポイント」について、6月下旬、下記施設において工事が完了し運用を開始しました。

防犯カメラの設置により、施設利用者に安心してご利用いただける環境が提供できるようになりました。さらに雲南警察署と協力し防犯への取り組みに効果が期待できます。

また公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスポイントの整備により、町内のアクセスポイントが27か所になりました。引き続きアクセスポイントの追加整備を行うとともに、町民・観光客の皆様の利便性向上を目指します。

■防犯カメラ設置場所

- ・カルチャープラザ駐車場
- ・横田コミュニティセンター玄関
- ・三成公園(管理棟、ホッケー場)
- ・横田公園(管理棟)

■公衆無線LAN(Wi-Fi)

- 設置場所
- ・役場仁多庁舎、横田庁舎



▲三成公園ホッケー場に設置された防犯カメラ

アメリカの高校生がホームステイ 米・ストリームウッド高校



▲折り鶴を作成(八川小学校)

6月10日、アメリカ合衆国イリノイ州にあるストリームウッド高校から日本語を学ぶ生徒16名が来町しました。

期間中は、8組のホストファミリーの協力のもと7泊8日のホームステイが行われ、畳づくりなどの文化体験や町内の学校を訪れて子どもたちと交流するなどして過ごしました。

八川小学校では、こま、けん玉、福笑い、折り紙の昔遊びを楽しみました。はじめは緊張した様子でしたが、遊びを通して交流を深めました。

また、みざわの館では、地元の方たちの協力のもと甲冑・浴衣を試着し、日本文化を肌で感じました。

短い間でしたが、お互いの文化を理解し絆を深める良い期間となったようです。

第11回全国和牛能力共進会島根県代表牛最終選抜会 奥出雲町出品牛の多くが島根県代表牛に選ばれる

全国和牛能力共進会は5年に1度開かれる「和牛のオリンピック」とも呼ばれ、全国各地の和牛改良の成果や優秀性を競う大会で、今年9月7日から11日にかけて宮城県仙台市で開催されます。

6月29日、島根県の代表牛を決める最終選抜会が松江市宍道町の島根中央家畜市場で開催されました。

当町からは、第3区に1頭、第5区に6頭、第7区に6頭が出品され、県出品対策本部審査委員によって個別審査、比較審査を受けました。

この結果、第3区(若雌の2)で1頭、第5区(繁殖雌牛群)で4頭、第7区総合評価群(種牛群)で4頭が、見事に島根県代表の座を獲得しました。また、第7区総合評価群(肉牛群)には、既にJA仁多肥育センター、(農)中国牧場からそれぞれ代表牛に選ばれています。

第11回全国和牛能力共進会での上位入賞をめざして飼養管理を徹底し、「奥出雲和牛」の産地として、「島根和牛」の名声を高めるよう、今後の指導・調教に取り組んで参ります。



▲第3区で島根県代表に選抜された「ゆりかつ」号(阿井地区・長谷川隆寿さん飼養)

第11回全国和牛能力共進会島根県代表牛

<肉用種牛の部>

出品区	名 号	出品者(地区)
第3区(若雌の2)	ゆりかつ	長谷川隆寿(阿井)
第5区(繁殖雌牛群)	ふくひら1	金倉 弘美(阿井)
〃	ゆりひめ	井上 昭(阿井)
〃	ゆりさつき	福本 成美(鳥上)
〃	はなゆり	佐藤 安則(亀嵩)
第7区(総合評価群:種牛群)	かつしげひめ2	金倉 弘美(阿井)
〃	ふくめぐみ5	奥出雲町農業公社
〃	ひので	遠藤 秀夫(阿井)
〃	ひめさつき	奥出雲町農業公社
第7区(総合評価群:肉牛群)	福福	JA仁多肥育センター
〃	恵福	(農)中国牧場

ホッケー日本代表に奥出雲町から9名選出! ～ワールドリーグ セミファイナル～

7月8日から23日まで南アフリカ(ヨハネスブルグ)で開催されるホッケーワールドリーグセミファイナルに出場する日本代表男子チーム(サムライジャパン)と女子チーム(さくらジャパン)に横田高校出身の選手男女9名が選出されました。

2018年ロンドン・ワールドカップ出場権の獲得をかけて、海外の強豪チームと戦います。



加藤 彰子
(コ・コーラウエストレッドスパークス)



錦織 えみ
(コ・コーラウエストレッドスパークス)



景山 恵
(ソニーHC BRAVIA Ladies)



膳棚 大剛
(天理大学ベアーズ)



田中 世蓮
(岐阜朝日クラブ)



落合 大將
(LIEBE栃木)



和久利 裕貴
(福井クラブ)



山崎 晃嗣
(山梨学院OCTOBER EAGLES)



福田 健太郎
(天理大学ベアーズ)

富士通×大阪大学 未来ビジネス創造カレッジ



▲ワークショップの様子

大阪大学経済学部で学ぶ学生と富士通のエンジニアが、イノベーションやビジネス創造に必要な知識を学びながら、実践的にビジネス提言を目指す「未来創造ビジネスカレッジ」が本町で開催されました。

キックオフとなった6月22日から24日の滞在では、課題提供者とのワークショップや町内フィールドワークを通し、町や人々が抱える課題、顕在化されていない課題やニーズを把握しました。

これから11月までにビジネス提案に向けた取り組みが行われていきます。

空き家に息吹を! おく リノ 空き家活用事業「OKU-Reno.」



▲見学の様子

空き家のリノベーションを通して、本町の空き家問題を解決する取り組みが始まりました。

リノベーションとは、中古住宅に対して、機能・価値の再生のための改修を行い、現代のライフスタイルに合った住まいによみがえらせることです。

6月17日には、対象物件の見学会が行われ、町内外から多くの参加がありました。

今後は、利活用希望者が中心となって、計画の作成、所有者へのプレゼンを行いリノベーションが行われる予定です。

三成公園シンボル像周辺整備



三成公園に設置しているミロのヴィーナス像とダビデ像の台座周辺に植栽や石畳を敷く整備が行われました。

この彫刻像は、亀嵩地区出身で広島市在住の若槻一夫さんが以前に寄贈されたもので、今回も若槻さんの慈善活動として整備されました。

引き続き三成公園の見どころとして一役買っていくことが期待されます。



国指定名勝に決定

櫻井氏庭園(上阿井)



▲出雲地方の庭園として初の国指定名勝となる櫻井氏庭園

6月16日に開かれた国の文化審議会の答申により、上阿井の櫻井氏庭園が国の名勝に指定されることが決まりました。

県内では、国の名勝指定は12年ぶりとなりました。また、町内においては、鬼の舌震が1927年に国の名勝及び天然記念物に指定されて以来、90年ぶりとなります。

櫻井氏庭園の見どころの1つが、1803年に松江藩主の松平治郷(不昧)の訪問にあわせ、造られたとされる滝です。この滝を治郷は「岩浪」と命名しました。

すでに国の重要文化財に指定されている櫻井家住宅とともに、たたら製鉄で興隆を誇った歴史文化を感じながら、住時を偲ぶことができます。